

SDGs 目指し、奈良の山中で砂かきに励む

～ 研修員 9 名が「緩速ろ過」採用の浄水場で維持管理の実習～

SDGs 第 6 番目の目標である「すべての人に安全な水と衛生へのアクセス」を達成するため、開発途上国においては、限られた予算の中でいかに綺麗な水を市民に届けるか奮闘しています。このような取組を支援するため、JICA 関西では、開発途上国で浄水場の維持管理を行っている技術者を対象に「都市上水道維持管理(浄水・水質)」研修を行っており、バングラデシュ、ラオス、ネパール、エジプト、スーダン、タンザニア、ブラジル、パナマの 8 か国 9 名が来日し 6 月 26 日より 8 月 2 日の日程で日本の水道技術を学んでいます。

水道水を作る工程では水をろ過する必要がありますが、ろ過方法は、凝集薬品を添加し短時間で作る「急速ろ過」方式と礫や砂を充填した層をゆっくり通過させることにより濁りや病原性微生物を除去する「緩速ろ過」に大別されます。開発途上国では、凝集薬品を使用しないため最小限のコストで済む「緩速ろ過」が主流となっていますが、その維持管理方法が十分には理解されていないのが実態です。奈良市の緑が丘浄水場は、日本では少ない「緩速ろ過」を採用している浄水場で、研修員はここで「砂かき」による汚れた表面の砂を掬い取る実習をおこないます。



昨年の実習風景

熱い砂の上で研修員が汗かきながら砂かきに励む実習風景の取材を是非ご検討下さい

日時	内容	場所
7/19(金) 10:00～12:00	緩速ろ過の概要(講義・実習)	奈良市企業局 緑が丘浄水場
7/19(金) 13:00～15:00	緩速ろ過施設見学	住所:奈良市奈良阪町 2543

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA 関西業務第二課 重松 (しげまつ) TEL 078-261-0388 e-mail:Shigematsu.Sumihiko2@jica.go.jp	◆当日の取材について 奈良市企業局 橋詰 (はしづめ) TEL : 0742-22-6456
---	--